

JKYB ライフスキル教育ミニワークショップ in 名古屋 2017 報告

平成 30 年 2 月 10 日（土）9：30～17：05 東桜会館にて東海支部の JKYB ライフスキル教育ミニワークショップ in 名古屋 2017 を開催しました。午前の基礎コース、午後の実践コースに 38 人が参加しました。

◇基礎コース 「ライフスキル教育の理論的基礎」【講師：近森けいこ】

はじめに、ビンゴマスターカードを用いて、「現在及び将来、健康でいるために重要だと思うこと」9項目を選びました。このワークを通して、健康には生活習慣・遺伝・医療・環境の4つの要因が影響しており、とりわけ生活習慣が大切であることに気付くことができました。



次に、青少年の6つの危険行動について詳しく説明を聞きました。危険行動をするきっかけについてブレインストーミングを行い、模造紙にまとめて発表しました。

さらに、危険行動を起こすきっかけとなる社会的要因への対処を図るための活動の一つとして、たばこ広告の分析を行いました。たばこ広告が作ろうとしているイメージ（印象）や使われている人を引き付けるためのテクニックを明らかにし、確認することができました。

◇実践報告 :【矢吹淑恵】

前任校である特別支援学校と現在の中学校での実践が紹介されました。特別支援学校では、「絆を強める心の能力」を育てるために行った活動として、「わたしはこんな人です」「わたしのコラージュ」などが紹介されました。中学校の実践では、喫煙防止教育などが紹介され、NICE II を基に生徒の実態や学校の行事に関連して実施され、生徒のセルフエスティームの向上が報告されました。（文責：山口）

◇実践コース : 子どものレジリエンシー（精神的回復力）を育てるために【川畑徹朗】

ライフスキル教育によってセルフエスティームを高め、支持的な環境づくりによってソーシャルサポート感を高めることが、レジリエンシーを育てることに繋がると学びました。



「子どものセルフエスティームを育てるために私ができること」についてブレインストーミングを行い、特に大事だと思うものを3点選びました。「声を掛ける」「達成感を与える」「家族にほめてもらう」などが出されましたが、全てのグループに共通していたことは「話をよく聞く」でした。

その後、3人1組になり「上手に話を聞こうチェックカード」を用いて、①話し手②聞き手③観察者の役割分担をし、話し手は「去年、一番ストレスに感じたこと」について1分間話しました。上手に話を聞くスキルの要素に気付くワークをし、共感的に話を聞く体験をしました。

最後に、レジリエンシーを育てるためには家庭環境も大きく影響していることから、「私の家族」のワークシートの活用方法についても学習しました。

◇学びの振り返り : ライフスキル教育を実践するにあたって【坂井三代子、畠中恵実】

最後に、東海支部オリジナルの「学びの振り返り」を行いました。ワークショップに参加して興味をもったこと、取り組んでみたことなどを、振り返りを通して具体的に捉え、実践への意欲を高めました。

（文責：出川）